

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会 大会旗・炬火リレー

# 山本地域採火式



秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の山本地域採火式が8月30日、白神山世界遺産センター藤里館で行われました。

幼稚園児や中学生、町民ら約450名が見守る中、白神仙人(山田一達孝さん・高石沢)が「まいざり器」で起こした火で炬火台に点火し、石岡町長が炬火名を『未来へつなく白神の火』と命名しました。

炬火台から石岡町長が炬火保持者を努める藤中生徒会長の佐々木一生くん(萱沢)の持つトーチに火を移した後、リレー隊長の鎌田孝一さん(荒町)が宣誓。第1陣の大会旗・炬火リレー走者10人が大歓声に後押しされスタートしました。その後、第2陣が藤里保育園く総合開発センター間、第3陣が大沢の淡路商店前く矢坂会館間をリレーして、能代市へと引き継がれました。

採火された火は、9月29日に開かれる総合開会式で県内8地域の炬火とともに集められ、大会期間中に秋田市の県営陸上競技場の炬火台に灯ります。



見事に採火!



炬火をリレー隊へ



「未来へつなく白神の火」と命名



園児たちも声援を送りました(藤里保育園)



リレー隊が出発!(世界遺産センター前)



この火種が能代市へ引き継がれました(矢坂会館)



たくさんの観衆が沿道を埋めた(役場前)